



2026 (令和8年)

9/1

令和8年9月1日発行
第215号

波野公民館 TEL 83-3573
FAX 83-9186

編集・発行 / 波野地区まちづくり委員会 広報記録部



今年も熱く！第49回波野地区納涼祭開かれる



八月二日(日)、第四九回波野地区納涼祭が開催されました。
当日は涼しい夜風に吹かれながら、盆踊りや波野小学校ダンスクラブによるアトラクション、お楽しみ抽選会などが行われました。
また、鹿島中学校二年生のお二人にはMCに挑戦してもらいました。世代を超えて、夏の夜の思い出ができました。





祭 納涼祭あらかると 祭



7/28・29 踊りの練習会 2日間で145名参加！



当日は踊りもアトラクションも盛り上がりしました



MCは鹿島中2年生！



鈴木 詩乃さん（東宮津台・写真右）
「納涼祭に来てくれた皆さんが楽しんでくれるようにがんばりました」

佐藤 心さん（北宮津台・写真左）
「わたしは実況が好きなので、納涼祭を盛り上げられてうれしいです」

波野小ダンスクラブ



波野小学校のダンスクラブのみなさんには、ステージでパワフルなダンスを披露していただきました！

飯田 杏さん（東宮津台）
「6年生最後の納涼祭では、2日間の短い練習期間でしたが、みんなと振り入れと構成までしっかり考えて踊ることができて、とてもうれしかったです」

ご協力・ご協賛いただいた皆さん(順不同・敬称略)

【特別協賛】

・(株)鹿島アントラーズFC ・(有)鹿嶋建運 ・波野地区社会福祉協議会会長

【協賛】

・波野サッカースポーツ少年団
・波野ミニバススポーツ少年団
・波野パソコンクラブ
・波野S R体操教室
・子供将棋教室 鈴香
・ハンドワーク
・フレンド
・アミアミ

・菜の花会
・あじさいの会
・大川 祥銀
・泉 恒子
・大川 好弘
・宮川 秀文
・大川 涉
・小原 彪

・今井 清
・大宮司 豊子
・今井 篤男
・鈴木 孝
・サンワ興業
・高木工業
・箕輪商店
・SEASIDESHOP
たぐち

【駐車場の提供】

・石津 正
・石津 智
・石津 政春
・大川 節子
・民間駐車場ノハラ
・中央タクシー
・明石区

楽しく役に立つ まちづくり委員会活動報告

5/17・7/18

アクティブなみなさんを応援 チャレンジ健康づくり教室！

令和8年度チャレンジ健康づくり教室が開講しました。第1回目の5月17日は「波野の宝ウォーキング」、第2回目の7月18日は「脳トレ」に挑戦しました！

～波野地区の史跡を散策して楽しもう～

5月17日、波野の宝の中から明石息栖神社、東の一之鳥居、姫の宮と回り、5月の爽快な海風を浴びて清水の集会所へと向かいました。逆回りチームと交代でトイレ休憩をとり、宝蔵院、厳島神社、百基の庚申塔を訪ねて帰途につきました。

天候にも恵まれ気持ち良い散策ができました。

～すっきり爽快脳トレチャレンジ～

7月18日、ウェルポート鹿嶋の郷から方波見さんと草野さんの2人の講師を招き、手指や体を使った脳トレ体操と人と関わり合いを持ち、楽しみを見つけ笑顔で暮らすことが認知症の予防になることを学びました。



6/28 小学生が大活躍！ 第2回波野地区ドッチビー大会

第2回目となった「ドッチビー大会」。6割強の子どもの参加があり、全10チームが2コートに分かれ5チーム総当り戦で10試合が行われました。

試合を重ねる毎に、ディスクの投げ方も上手くなり白熱したゲームが繰り広げられました。放たれたディスクがバスケットゴールに吸い込まれた時には、思わぬハプニングにも関わらず、拍手と歓声が上がりました。ギャラリーからも応援する声が飛び交い、子どもから大人まで一緒に競技を楽しむ姿が見られ活気ある大会となりました。



Aコート優勝「タイガードロップ」のみなさん(右側)
Bコート優勝「北宮ガールズ」のみなさん(左側)

6/16 シニア学級移動学習！ 歌舞伎鑑賞教室

東京の劇場、サンパール荒川で全十一段まである 仮名手本忠臣蔵の中から、中村橋之助が主演する五段目山崎街道の二つの場と六段目甚平切腹の場を鑑賞しました。

開演前の解説には間に合いませんでしたが900の席はほぼ満席で人気の円台を鑑賞できました。



7/3 大人の彩倶楽部！

大人の教養講座として開講した「大人の彩(いろうどり)倶楽部」。その第1回目として、7月3日(日)、東京の銀座三越にあるアートアクアリウム美術館銀座を訪れました。

同美術館では現在、百花繚乱「金魚と巡る、日本の夏」をテーマにした企画展が開催されており、江戸時代から続く金魚鑑賞という文化を現代に表現し、光や音、香りに包まれた幻想的な空間の中を優美に泳ぐ金魚を鑑賞しました。

参加した皆さんは、「暑い日でしたが、体も心も涼しく癒されました」と話していました。

同倶楽部は、これからも「学び」を楽しみ、大人の教養に磨きをかけていきます。





明治時代に開設 ～思い出の下津海水浴場～

下津海水浴場は、明治時代から開設されている県内でも有数の歴史ある海水浴場でした。波野のみなさんも、子どもの頃に家族や友だちと出かけた懐かしい記憶があるのではないのでしょうか。透き通った海水に足を踏み入れ、足の裏ではまぐりの貝殻を踏みしめた感触。そんな思い出が胸によみがえる方も多いことでしょう。

そんな歴史ある海水浴場ですが、今年は残念ながら開設見送りとなりました。時代の変化を映し出すように、県のデータによれば、平成27年には約2万9千人あった入込客数が、昨夏は1万人を下回る状況となっていました。

波野地区の夏の原風景として深く定着していた下津海水浴場。今回は、私たちの心に刻まれたあの夏の日の記憶を、懐かしい写真とともに振り返ります。



▲ 昔の下津海水浴場
年代不明
鹿嶋市教育委員会所蔵

◀ 現在の
下津海水浴場

波野の宝を訪ねて ～明石 百基の庚申塔～

「庚申（こうしん）」は、「かのえさる」と呼ばれる干支の一つで、庚申の年は60年に1度、庚申の日は60日に1度巡ってきます。昔は、この庚申の日には人々が集まって夜を眠らずに明かす「庚申講（こうしんこう）」という行事が行われていました。明石の庚申塔は、こうした行事を3年18回続けた記念などに建立されたものです。

明石地区にある「明石の百庚申」は、青面金剛（しょうめんこんごう）像が彫られた石塔10基と、「庚申」の文字が刻まれた石塔90基、合計100基からなる石塔群です。江戸時代後期（1846年～1855年）にかけて奉納されました。

これほどの規模の百庚申は茨城県内でもほとんど例がなく、大変貴重なものとして、市の有形民俗文化財に指定されています。身近な場所に眠る波野地区の歴史を、ぜひ覗いてみてはいかがでしょうか。



まちづくり委員会 秋の2大イベント計画中！

- ・波野地区住民体育祭…10月
- ・波野まつり
(波野小と共催)…11月



編集後記

早朝から実行委員でテントややぐら、ステージを設営し、迎えた納涼祭本番。子どもたちをはじめ、老若男女多くの方々にお集まりいただきました。人と人のつながりが少しずつ薄れがちな時代だからこそ、こうしたイベントを通じて見覚えのある顔が増えてほしいと思います。道で会ったときに自然と笑顔であいさつできる、そんな温かいまちづくりのきっかけになれば幸いです。（野村）